

クラス番号	312	担当教員名	末盛 慶
テーマ	社会学的な視点を用いて、現代社会の諸相を理解した上で、地域社会を読み解く		
著書・論文 研究課題等	「夫の家事遂行と妻の夫婦関係満足感－NSFH を用いた日米比較－」『人口問題研究』第 54 巻 3 号, 1998 年 (共著) 「夫の家事遂行および情緒的サポートと妻の夫婦関係満足感」『家族社会学研究』第 11 号, 1999 年 「母親の就業は子どもに影響を与えるのか」『家族社会学研究』第 13 巻 2 号, 2002 年 「職場環境と男性のワーク・ライフ・バランス」『揺らぐ子育て基盤』松田茂樹他著, 勁草書房, 2010 年 「単身高齢者の精神的健康－ジェンダーの視点による検討」『社会保障研究』第 2 巻 1 号, 2017 年		

ゼミナール概要

キーワード：家族、ジェンダー、行政、地域、社会問題、社会調査

目的、内容、方法等：

本ゼミでは、社会学的な視点にもとづいて、現代社会の諸相を理解した上で、地域社会を読み解いていきます。具体的には、資本主義、世界情勢、近現代史、ジェンダー、地域社会等を取り上げる予定です。

授業計画：

3 年生の前期は、上記のテーマに関する文献にもとづきながら、輪読とディスカッションを行い理解を深めていきます。輪読の作業はグループワークで行います。場合によっては、地域調査も行います。

ゼミの核（コア）は、学生同士のディスカッションです。 基本的な事柄ではありますが、「自分が伝えたいことを他者にきちんと伝えられるようになること」を目指します。学生同士の議論がゼミの中心を成します。

3 年生の後期は、社会調査の演習を行います。本ゼミでは、「アンケートを自分で作成し、データをとり、それに対してエクセルなどで分析を行い、口頭報告する」という技術の習得を目標としています。インタビュー調査を行うこともあります。加えて、3 年の最終回のゼミに卒業論文の中間レポートを提出してもらいます。

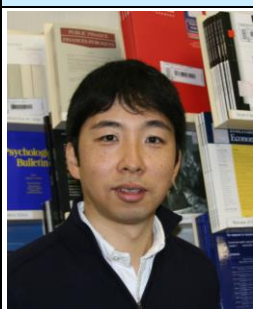
4 年生の目標は、卒業論文の執筆と社会福祉士国家試験に向けた準備です。本ゼミではできるだけ卒業論文を夏までに提出することを目標としています。その後は、国家試験等に集中していくという形をとります。

以上2年間を通しての達成目標は以下の3つです。1. さまざまな社会現象を社会学的な視点で見ていく力の獲得, 2. アンケートやインタビューを用いた調査方法とデータをまとめる技術の習得, 3. 根拠にもとづきながら論理的に話ができる力の獲得, です。この3つをしっかりと身につけることができるかは、みなさん1人1人の「意識の持ち方」次第です。ゼミ活動に真剣に取り組む学生をお待ちしております。

【備考】

- ・本ゼミでは、春季課題、夏季課題などの課題を定期的に出します（例.文庫や新書を用いたレポートの作成）。
- ・各自治体（名古屋市、東海市、半田市等）の事業や審議会の見学・参加等を有志で随時募ります。
- ・卒業論文の作成の際、何らかの社会調査（量的・質的どちらでも可）を行うことを条件としています。
- ・将来、公務員（行政職・福祉職等）、一般企業、大学院への進学を考えている学生を歓迎します。
- ・学生1人ひとりのキャリアの相談相手になりたいと思います。

担当教員からのメッセージ



皆さんにとって大切な2年間になります。ゼミの課題等が少々大変でも「自分を鍛える」という感覚を持ちながら、この2年間を過ごして欲しいです。

現代の社会情勢がどういう状況にあり、私たちはどういう時代に生きているのか。こうした点を踏まえた上で、今後私たちにできることを議論していきます。

やるべきことはしっかり取り組み、どこかほっとできて元気で楽しい。そのようなゼミをみなさんと一緒に目指したいと思います。